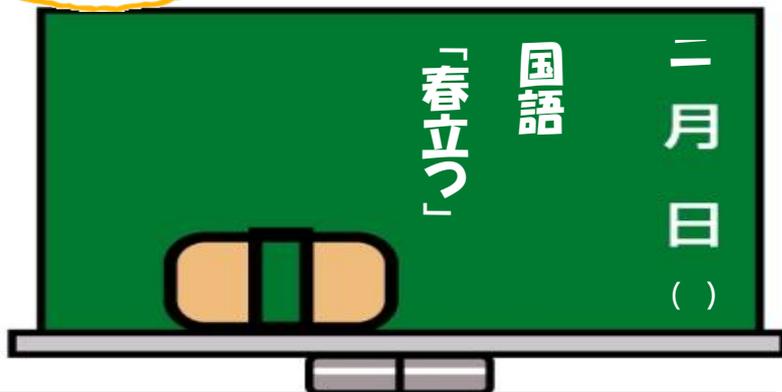


教科書の中から…

いただきます

2月



春寒し

春浅し

寒明け

余寒

春来る

芽ぶく

梅ぼんぼり

袖ひぢておすびし水のこほれるを

春立つけふの風やとくろん

雪解(と)けや

春立つ一日(ひさし)

あたたかし

立春の

雪のふかさよ

手鞠歌(てまりうた)

紀貫之

正岡子規

石橋秀野

節分

かんれんこんだて 関連献立 ごはん 牛乳 いわしのごま煮 香り漬 けんちん汁 福豆

節分は各季節の始まりの日(立春・立夏・立秋・立冬)の前日のことをい

ます。でも、このごろは立春の前日を節分というようになりました。昔から立春

から新しい年が始まるとされているところから、節分が大みそかにあたります。

そのため、節分のことを「年越し」というところもあります。

節分に豆をまくのは、悪い病気や悪いことをあらわす悪い鬼を追い払うため

です。イワシの頭をひいらぎの小枝にさして戸口に挿すのは悪い鬼が家の中に入ら

ないようにするためです。また、自分の年の数より1つ多く豆を食べて、「一年を

無事で健康に過ごせますように」と願います。

教科書には載っていない...

身近な食品の話

2月



平成 25年 2月 日()

献立

ごはん 牛乳 いわしのごま煮 香り漬 けんちん汁 福豆

節分

由来

節分は立春の前の日です。(今年は2月3日です。)

本来、節分は季節を分けるという意味があり、立春・立夏・立秋・立冬の前の日のことを指していました。旧暦では、立春の頃が一年の始めとされ、最も重要視されていたので、節分といえば、一般的に立春の前の日を示すようになりました。

立春

立春は、冬至と春分の間の2月4日頃に当たります。

立春は節分の翌日で「寒さがあけて春に入る日」いわば春の初日です。

立春の早朝、禅寺では厄除けのために門に「立春大吉」と書いた紙を貼る習慣があります。この文字は、縦書きすると左右対称になり一年間災難にあわないというおまじないです。

立春以降に初めて吹く南よりの強風を春一番とよびます。

節分の過ごし方

・イワシの頭を柵の枝に刺し、玄関先に立てます。

・炒った大豆を「鬼は外、福は内」と大声で唱えながら家の出入り口や各部屋に蒔き、災いを追い払います。蒔き終わったら、その蒔いた豆を年の数(または年の数+1)だけ食べ、1年の無病息災を願います。

短歌・俳句の紹介

袖ひぢてむすびし水のこほれるを
春立つけふの風やとくらん
紀 貫之

雪解けや春立つ一日あたたかし
正岡 子規

立春の雪のふかさよ手鞠歌
石橋 秀野